





2024年3月14日

BMW グループ、収益性の高い成長路線を継続

ツィプセ「戦略を一貫して成功裏に実行」 通期のグループ EBT マージンは 11.0% 2023 年の自動車 EBIT マージンは 9.8% 2023 年の電気自動車納車比率は予想通り 15% EU 車両からの CO2 排出量は 102.1g/km (WLTP) 制限値 128.5g/km を大幅に下回る 普通株式 1 株当たり 6.00 ユーロの配当を提案革

ミュンヘン発: BMW グループは、予想通り 2023 会計年度の事業目標を達成した。激しい競争と不安定な状況にもかかわらず、収益性の高い成長を維持し、世界のプレミアム・セグメントにおける主導的地位を守ることに成功した: 12 月末までの 1 年間に顧客に納車されたプレミアム車両は合計 255 万 4,183 台 (2022 年: 239 万 9,632 台 / 6.4%増)であり、このうち第 4 四半期は 71 万 7,620 台 (2022 年第 4 四半期: 65 万 1,794 台 / 10.1%増)であった。通期の納車台数は堅調な伸びを示し、市場シェアは 3.3&となった。

製品に対する高い需要が、BMW グループの好調な事情継続の原動力となった:グループの EBT マージンは 11.0% (2022 年:16.5%、第4四半期:8.6%、2022年:8.2%) となり、戦略目標の 10%を上回った。自動車セグメントの EBIT マージンは 9.8% (2022年:8.6%、第4四半期:8.5%、2022年第4四半期:8.5%) と、予測目標範囲 (9.0%~10.5%) 内に収まった。

2023 年を通じて、斬新かつ魅力的な電気自動車のラインアップが主な成長ドライバーとなった。BMW グループは、合計 37 万 5,716 台 (2022 年: 21 万 5,752 台 / 74.1%増) の電気自動車を顧客に納車し、計画通り総販売台数の約 15% のシェアを達成した。納車した PHEV (プラグイン・ハイブリット) を含む BMW グループの電動化車両販売台数は 56 万 5,875 台 (2022 年: 43 万 3,792 台 / 30.5%増) となり、販売シェア 22%を達成した。

車両ポートフォリオの電動化はグループ内の CO2 排出量削減に大きく貢献し、また、車両からの CO2 排出量の継続的削減にも寄与する。欧州車両に関して、BMW グループは 2023 年も引き続き排出量を削減した: CO2 排出量は 102.1g/km (WLTP 基準、2022 年: 105g/km / 2.8%減)で、暫定値は EU が設定したも目標値 128.5g/km を大幅に下回っている。 BMW AG 取締役会会長であるオリバー・ツィプセは木曜日、次のように述べている「2023 年は、我々の戦略が一貫して成功裏に実行されていることを明確に示す年となりました。私たちは力強い成長を達成し、電気自動車の比率を大幅に高めると同時に、事業収益性を向上させました。多くの人々が「変革」について語っていますが、私たちにとってはむしろ、継続的な進歩の問題です。私たちは、車両のパワートレインにかかわらず、顧客に最新のイノベーションとテクノロジーを提供するという方針で前進しています。このように、私たちは強い需要に応え、強い製品を提供し続けることを目指しています。」

グループ売上高は堅調に増加

グループ全体の売上高は通期で堅調な伸びを示し、1,554 億 9,800 万ユーロを達した(2022 年:1,426 億 1,000 万ユーロ / 9.0%増 / 為替変動調整後:13.1%増)。

2023 年 1 月から 12 月までの期間は、BMW Brilliance Automotive Ltd. (BBA / ブリアンス・オートモーティブ) の売上高がすべて含まれている。前年度は 2022 年 2 月 11 日以降の完全統合後のみ含まれているため、前年度比較においてはこの点を考慮する必要がある。

完全統合を加え、売上高は主に販売台数の増加と製品ミックスの+効果によって牽引された。中国人民元と 米ドルの為替逆風の影響を受けたが、金利の上昇と融資による追い風も売上高の増加に寄与した。

研究開発費が過去最高額

通期のグループ研究開発費は 75 億 3,800 万ユーロ (2022 年:66 億 2,400 万ユーロ / 13.8%増) と大幅 に増加した。新型 BMW 5 シリーズ、X3 および X5 (モデルチェンジ)、ロール・スロイス SPECTRE、NEUE KLASSE (ノイエ・クラッセ) の将来モデルなどの新モデルの開発費に加え、研究開発費は主に車両ポートフォリオのさらなる電動化とデジタル化、および自動運転に集中的に費やされた。

通期の研究開発費比率 (ドイツ商法に基づく) は 5.0% (2022 年:5.0%) であり、長期目標範囲である 4.0%~5.0%の高水準にある。

BMW グループの設備投資は通期で88億3,600万ユーロに増加した(2022年:77億9,100万ユーロ/8.5%増)。多額の投資が電動化と自動運転モジュールに費やされたほか、さまざまな市場での高電圧バッテリー生産の立ち上げや、ハンガリーデブレツェンの工場建設にも費やされた。

12 ヵ月間の設備投資比率は 5.7% (2022 年: 5.5%) となった。

BMW AG 財務担当取締役であるウォルター・メルトルは、次のように述べている。「私たちは、革新的なテクノロジー、製品と工場の電動化、およびデジタル化に大規模な投資を行っています。BMW グループの将来に投資し、強力なフリー・キャッシュフローを生み出しており、好調な業績がその道を切り開いています。現在の収益性は、将来の成功の基盤を築くものです。最先端のテクノロジーを搭載した高効率のプレミアム車両により、今後も収益性の高い成長を維持することを目指しています」

グループ利益(EBIT)が大幅に増加

通期の利払前・税引前利益(EBIT)は、BMW グループの好調な営業実績を反映したものであった: 2023年の EBIT は 184億8,200万ユーロ(2022年: 139億9,900万ユーロ / 32.0%増)に増加した。BBA の完全統合と納車台数の増加に加え、リース事業に関連するセグメント間取引消去の減少もプラスに作用した。

1 月から 12 月までの BMW グループの税引前利益(EBT)は、170 億 9,600 万ユーロ(2022 年: 235 億 900 万ユーロ / 27.3%減)であった。ここでは、マイナスの公正価値によるマイナス 13 億 8,600 万ユーロの金融収支(2022 年: 95 億 1,000 万ユーロ)は、対応するベース効果を反映している: 前年度は、完全統合の一環として 77 億ユーロの BBA 持分の再評価が行われ、BMW グループの業績、グループ利益およびグループ純利益が大幅に増加した。

1月から 12月までの EBT マージンは 11.0% (2022年: 16.5%) となった。

グループ純利益は 12 ヵ月間で 121 億 6,500 万ユーロ(2022 年:185 億 8,200 万ユーロ / 34.5%減)となった。一時的な再評価の影響がなければ、グループ純利益は前年度を上回り、EBT マージンは前年度並みであった。

12 ヵ月累計の自動車セグメント EBIT が大幅に増加

自動車セグメントでは、BMW Brilliance Automotive Ltd. (BBA) の営業事業の完全統合、販売台数の増加および製品ミックスのプラス効果により、12ヵ月間の売上高は7.0%増の1,322億7,700万ユーロ(2022年:1,236億200万ユーロ / 為替変動の調整後:11.3%増)となった。主に中国人民元と米ドルによる為

替換算のマイナス効果が増収に影響を及ぼした:為替の逆風を除くと、通期では 11.3%の大幅増収となった。

完全統合に伴う約14億ユーロの取得原価の配分による減価償却費が同セグメントの通期の売上原価に影響を及ぼしたほか、販売管理費も若干増加した。

自動車セグメントの通期の利払前・税引前利益 (EBIT) も大幅に増加し、129 億 8,100 万ユーロ (2022 年: 106 億 3,500 万ユーロ / 22.1%増) となった。 BBA の業績が通期で含まれていることに加え、販売台数の増加、トップエンド車両および BMW M シリーズのシェア拡大による販売台数、製品ミックス、価格設定の正味効果がプラスに働いた。しかし、2022 年に比べて研究開発費と製造コストが増加したことに加え、電動化車両のシェアが増加したことが逆風となった。当期の EBIT マージンは 9.8%(2022 年: 8.6%、1.2%ポイント増)であった。前述の 14 億ユーロの取得原価の配分から BBA 資産の減価償却費を除いた EBIT マージンは 10.8%であった。

こうした好業績により、12 月末時点のセグメントのフリー・キャッシュ・フローは 69 億 4,200 万ユーロとなった(2022 年度は 110 億 7,100 万ユーロ / 37.3%減)。前年度の数値には、BMW Brilliance の完全統合による約 50 億ユーロの一時的なプラス効果が含まれている。

BMW AG 自社株買いプログラム継続

2022年5月の年次株主総会での承認に基づき、取締役会は20億ユーロを上限とする自社株買いを決定した。2022年7月から2023年6月にかけて実施された第1次自社株買いプログラムにおいて、BMW AG は普通株式22,199,529株を1,850百万ユーロで、優先株式1,923,871株を150百万ユーロで買い戻した。これは現在の株式資本の3.78%に相当する。取締役会の決定に従って、取得した全株式は2023年第3四半期に消却された。

20 億ユーロを上限とする第 2 次自社株買いプログラムは、2023 年 7 月に開始された。2023 年末までに、BMW AG は普通株式 4,218,363 株および優先株式 942,892 株を取得した。第 1 次自社株買いプログラムで買い戻された株式の取得原価(付随的な取得費用を除く)は、総額約 5 億ユーロであった。これは現在の株式資本の 0.81%に相当する。

第 2 次自社株買いプログラムは、2024 年 1 月に第 2 回が実施された。2024 年 3 月 12 日現在、BMW グループは総額 7 億 3,400 万ユーロ相当の 753 万 1,194 株を買い戻しており、現在の株式資本の 1.18%を保有している。

第2次自社株買いプログラムは2025年12月31日までに終了する予定である。

6.00 ユーロの配当を提案

2023 会計年度の成功は株主とも共有される。年次株主総会での承認を条件として、BMW AG の当期純利益から、暫定的な配当性向 33.7% (2022 年: 30.6%) に相当する 38 億 200 万ユーロ (2022 年: 54 億 8,100 万ユーロ / 30.6%減) の未処分利益 (ドイツ商法に基づく) が株主に分配される。

BMW AG の株主に帰属する配当性向の目標範囲である純利益の $30\sim40\%$ を考慮し、取締役会および監査役会は、5月15日の年次株主総会において、普通株式1株当たり 6.00 ユーロ(2022年: 8.50 ユーロ)および優先株式1株当たり 6.02 ユーロ(2022年: 8.52 ユーロ)の配当を提案する予定である。BMW グループの従業員も、再び適切な方法で会社の成功に参加する。

金融サービスセグメントの安定した業績

2023 会計年度の厳しい競争環境において、BMW グループ・フィナンシャル・サービスはリテール顧客との新規契約高をわずかに伸ばし、573 億 3,300 万ユーロ(2022 年:554 億 4,900 万ユーロ / 3.4%増)とし

た。製品ミックスの改善により、車両 1 台当たりの平均融資額が増加した。リテール顧客との新規契約件数は 1,542,514 件(2022 年: 1,545,490 件 / 0.2%減) と、前期の水準に達した。年度末時点の普及率(金融サービスセグメントが新たにリースまたは融資した BMW グループ車両の割合)は、38.2%(2022 年: 41.0% / 2.8 %ポイント減)であった。

12 ヵ月間の同セグメントの税引前利益は 29 億 6,200 万ユーロ (2022 年: 32 億 500 万ユーロ / 7.6%減) となった。この減益は主に、リファイナンスコストの増加と、ポートフォリオ全体のリテール契約数が 4,952,318 件 (2022 年 12 月 31 日: 5,210,246 件 / 5.0%減) に減少したことによるものである。

BMW グループ・ファイナンシャル・サービスは、リース終了車両の再販により引き続き高利益を得たが、これは前年同期比ではプラス幅が縮小したため、利益に悪影響を及ぼした。中古車価格は 2024 年もこの傾向が続くと思われる。

前年度に比べて信用リスク引当が減少したこともプラスに働いた。2022年の信用リスク引当は、地政学的不確実性とマクロ経済見通しの悪化により大きな影響を受けた。 2023年の信用損失比率は 0.18%と低水準を維持した。

BMW AG 財務担当取締役であるメルトルは、次のように述べている。「金融サービスセグメントは、その資金調達活動によって売上高の成長を支え、利益に大きく貢献しています。今後、金融サービス事業を販売プロセスや「カスタマー・ジャーニー」にさらに密接に統合していきます。そのためには、プロセスのデジタル化が重要な役割を果たします。社内のあらゆる領域で、デジタル化と AI が効率性、スピード、価値創造の向上に貢献するでしょう。また、今後の人口動態の変化を考慮すると、この 2 つのテーマは BMW グループにとって不可欠です」

2023 会計年度の金融サービスセグメントの株主資本利益率は 17.2% (2022 年: 17.9% / 0.7%ポイント減) となり、16~19%の調整後ガイダンスに沿った水準となった。

モーターサイクルセグメント、創業 100 周年の年に再び納車台数を積み増し

BMW Motorrad(モトラッド)は 2023 年に創業 100 周年を迎え、「100 years」と名付けられた 2 つの限定 モデル、3 つの新型モデル、4 つのモデルチェンジを発表した。この記念すべき年に同セグメントは過去最高 を更新し、モーターサイクルおよびスクーターの累計販売台数は 20 万 9,066 台となった(2022 年: 20 万 2,895 台)。これは 3.0%の微増であり、会計年度の予想を裏付けるものである。

12 ヵ月間の BMW Motorrad の売上高は微増の 32 億 1,400 万ユーロとなった(2022 年:31 億 7,600 万ユーロ / 1.2%増、為替変動調整後:3.2%増)1~12 月期のセグメント EBIT は 2 億 5,900 万ユーロ(2022年:2 億 5,700 万ユーロ / 0.8%増)で前年同期並みとなった。EBIT マージンは 8.1%(2022 年:8.1%)となった。

BMW グループ、当年度最終四半期に成功への舵を切る

BMW グループは、2023 年第 4 四半期に納車台数のダイナミックな伸びと好調な業績を達成した。電気自動車 12 万 8,849 台(2022 年第 4 四半期:8 万 7,557 台 / 47.1%増)を含む、71 万 7,620 台(2022 年第 4 四半期:65 万 1,794 台 / 10.1%増)のプレミアム車両を顧客に納車した。

第 4 四半期のグループ売上高は堅調な伸びを示し、429 億 6,800 万ユーロに達した (2022 年:395 億 2,200

万ユーロ / 8.7%増)。 グループの研究開発費は最終四半期に 20 億 8,000 万ユーロ(2022 年第 4 四半期: 17 億 3,900 万ユーロ / 19.7%増)と増加した。研究開発費比率(ドイツ商法に基づく)は 5.9%(2022 年第 4 四半期:5.8% / 0.1%ポイント増)と安定していた。BMW グループの設備投資合計は 37 億 5,800 万ユーロ(2022 年:31 億 1,100 万ユーロ / 20.8%増)であった。

グループの利払前・税引前利益(EBIT)は 44 億 1,200 万ユーロ(2022 年:35 億ユーロ / 26.1%増)と、前年度を大幅に上回った。 グループの税引前利益(EBT)は第4 四半期に大幅に増加し、36 億 8,200 万ユーロとなった(2022 年:32 億 5,300 万ユーロ / 13.2%増)。当期の EBT マージンは 8.6%(2022 年:8.2%)であった。

第 4 四半期のグループ純利益は合計 26 億 1,400 万ユーロ(2022 年:21 億 7,500 万ユーロ / 20.2%増)となった。

自動車セグメントの第 4 四半期の売上高は堅調な伸びを示し、372 億 8,300 万ユーロ(2022 年:345 億7,100 万ユーロ / 7.8%増、為替変動調整後:12.2%増)に達した。

第 4 四半期の利払前・税引前利益 (EBIT) は 31 億 7,100 万ユーロ (2022 年: 29 億 3,200 万ユーロ / 8.2% 増) と堅調な伸びを示した。EBIT マージンは 8.5% (2022 年度: 8.5%) と前年度から安定しており、季節的にコスト負担が高かったことを示した当年度最終四半期の自動車セグメントの好調な営業実績を裏付けている。

自動車セグメントの利益が堅調に推移した結果、第4四半期のフリー・キャッシュ・フローは 11 億 8,300 万ユーロ(2022 年:11 億 9,500 万ユーロ /1.0%減)となった。

金融サービスセグメントでは、第 4 四半期の普及率が 39.5%(2022 年:37.1% / 2.4%ポイント増)まで上昇し、成長軌道を維持した。同セグメントの第 4 四半期の税引前利益 (EBT) は 5 億 1,100 万ユーロ (2022 年:5 億 3,300 万ユーロ / 4.1%減)となった。このわずかな減少は、リファイナンスコストの増加とポートフォリオ全体の縮小によるものである。

従業員数は前年度を上回る

BMW グループの 2023 年末時点の従業員数は 15 万 4,950 人(2022 年: 14 万 9,475 人 / 3.7%増)であった。 この従業員数の微増は、主に開発セグメントと IT セグメント、および BMW グループのグローバルな生産ネットワークにおけるものである。

監査役再任議案

2024 年 5 月 15 日の年次総会をもって、現在の監査役会メンバーである Susanne Klatten 名誉博士、Stefan Quandt 氏および Vishal Sikka 博士の任期が満了を迎える。監査役会は、Susanne Klatten 名誉博士、Stefan Quandt 氏および Vishal Sikka 博士の再選を提案し、4 年間の任期を再任する予定である。

BMW グループ - 概要: 2023 年通期 納車台数		2023 年	2022 年	增減率 (%)
自動車 1	台	2,554,18	32,399,632	26.4
BMW	台	2,252,79	32,100,689	97.2
MINI	台	295,358	292,922	0.8
ロールス・ロイス	台	6,032	6,021	0.2

モーターサイクル	台	209,066	202,895	3.0
従業員(2023 年 12 月 31 日現在) EBIT マージン 自動車セグメント EBIT マージン モーターサイクルセ	%	154,950 9.8%	149,475 8.6%	3.7 14.1
グメント	%	8.1%	8.1%	-0.4
EBT マージン BMW グループ ²	%	11.0%	16.5%	-33.3
売上高	百万ユー ロ	155,498	142,610	9.0
自動車	百万ユーロ	132,277	123,602	7.0
モーターサイクル	百万ユー ロ	3,214	3,176	1.2
ファイナンシャル・サービス	百万ユー ロ	36,227	35,122	3.1
その他の事業	百万ユー ロ	11	8	37.5
連結調整	百万ユー ロ	-16,231	-19,298	-15.9
利払前・税引前利益(EBIT)	百万ユー ロ	18,482	13,999	32.0
自動車	百万ユーロ	12,981	10,635	22.1
モーターサイクル	百万ユー ロ	259	257	0.8
ファイナンシャル・サービス	百万ユー ロ	3,055	3,163	-3.4
その他の事業	百万ユー ロ	-13	-203	-93.6
連結調整	百万ユー ロ	2,200	147	-
税引前利益(EBT)	百万ユー ロ	17,096	23,509	-27.3
自動車	百万ユー ロ	12,642	18,918	-33.2
モーターサイクル	百万ユー ロ	258	269	-4.1
ファイナンシャル・サービス	百万ユー ロ	2,962	3,205	-7.6
その他の事業	百万ユー ロ	-100	995	-

連結調整	百万ユー ロ	1,334	122	-
グループ法人税	百万ユー ロ	-4,931	-4,927	0.1
純利益	百万ユー ロ	12,165	18,582	-34.5
普通株式1株当たり利益	ユーロ	17.67	27.31	-35.3
優先株式 ↑ 株当たり利益 ³	ユーロ	17.69	27.33	-35.3

¹合弁会社 BMW Brilliance Automotive Ltd. (瀋陽) の納車台数を含む。

³ 普通/優先株式。優先株式 1 株当たり利益は、優先株式 1 株当たり 0.02 ユーロの 追加配当を賄うのに必要な利益を、対応する会計年度の四半期にわたって比例配分 することにより算出される。

BMW グループ - 概要: 2023 年第 4 2 半期	9	2023 年第 四半期	42022 年第 。 四半期	4 増減率(%)
納車台数 自動車 ¹ BMW MINI ロールス・ロイス モーターサイクル	台台台台台	717,620 631,526 84,616 1,477 44,349	566,823	10.1 11.4 1.2 11.9 1.8
従業員(2023年12月31日現在) EBIT マージン 自動車セグメント EBIT マージン モーターサイクルセグシント EBT マージン BMW グループ ²	% ८ %	154,950 8.5% -7.6% 8.6%	149,475 8.5% -9.4% 8.2%	3.7 0.3 -19.0 4.1
売上高	百万ユー ロ 百万ユー	42,968	39,522	8.7
自動車 モーターサイクル	ロ 百万ユー ロ	37,283 643	34,571 691	7.8 -6.9
ファイナンシャル・サービス	百万ユー ロ	9,504	9,086	4.6
その他の事業	百万ユー ロ	2	2	0.0
連結調整	百万ユー ロ	-4,464	-4,828	-7.5
利払前・税引前利益 (EBIT)	百万ユー	4,412	3,500	26.1

² グループの売上高に対するグループ税引前利益の比率。

自動車	百万ユー ロ	3,171	2,932	8.2
モーターサイクル	百万ユー ロ	-49	-65	-24.6
ファイナンシャル・サービス	百万ユー ロ	606	536	13.1
その他の事業	百万ユー ロ	0	-16	-100.0
連結調整	百万ユー ロ	684	113	-
税引前利益(EBT)	百万ユー ロ	3,682	3,253	13.2
自動車	百万ユー ロ	3,031	3,009	0.7
モーターサイクル	百万ユー ロ	-53	-57	-7.0
ファイナンシャル・サービス	百万ユー ロ	511	533	-4.1
その他の事業	百万ユー ロ	-212	-263	-19.4
連結調整	百万ユー ロ	405	31	-
グループ法人税	百万ユー ロ	-1,068	-1,078	-0.9
純利益	百万ユー ロ	2,614	2,175	20.2
普通株式1株当たり利益	ユーロ	3.77	3.43	9.9
優先株式 1 株当たり利益 3	ユーロ	3.78	3.44	9.9

¹合弁会社 BMW Brilliance Automotive Ltd. (瀋陽)の納車台数を含む。

本件に関する読者および視聴者からのお問合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター フリーダイヤル 0120-269-437 受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: http://www.bmw.co.jp

² グループの売上高に対するグループ税引前利益の比率。

³ 普通/優先株式。優先株式 1 株当たり利益は、優先株式 1 株当たり 0.02 ユーロの追加配当を賄うのに必要な利益を、対応する会計年度の四半期にわたって比例配分することにより算出される。